

たちつとちぎ

JA全農とちぎ 通信

2023

7

Vol.268



特集

全農栃木県本部 運営委員会委員の紹介
全農栃木県本部 子会社等新役員体制
栃木県150周年 栃木県民の日を盛り上げます
栃木の梨・野菜・銘柄牛の更なる消費拡大に向けて

ピックアップ

栃木米の産地視察 田植え体験と工場見学を実施
夏にらの目揃え会を開催
夏秋なすの目揃え会を開催
JAエルサポート&JAうつのみやが冠試合
信頼される地域ナンバーワンの農機センターを目指して

CONTENTS

- お知らせ
第22回 JAグループ栃木
パワフルアグリフェア 開催!
- 簡単レシピ
『トマトたっぷりキーマカレー』
- 子牛市場情報
- JAタウンからのお知らせ
- 行事予定
- 編集後記



JAグループ栃木/JA全農とちぎはSDGsが目指す社会の実現に貢献しています

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



全農栃木県本部 運営委員会委員の紹介

会 長	菊 地 秀 俊	栃木県農業協同組合中央会	代表理事会長
副会長	国府田 厚 志	栃木県農業協同組合中央会	副会長理事 はが野農業協同組合 代表理事組合長
委 員	伊 藤 順 久	那須野農業協同組合	代表理事組合長
委 員	荒 井 秀 忠	塩野谷農業協同組合	代表理事組合長
委 員	中 山 正 樹	那須南農業協同組合	代表理事組合長
委 員	佐 藤 俊 伸	宇都宮農業協同組合	代表理事組合長
委 員	青 木 孝 雄	上都賀農業協同組合	代表理事組合長
委 員	長 昌 光	下野農業協同組合	代表理事組合長
委 員	渡 邊 文 雄	小山農業協同組合	代表理事組合長
委 員	金 井 猛 弘	佐野農業協同組合	代表理事組合長
委 員	齋 藤 肇	足利市農業協同組合	代表理事組合長

6月30日付で令和5年度体制になりました。上記11名の運営委員会体制のもと、会員JA・組合員の負託にこたえる事業を展開し、栃木県本部の健全な運営につとめてまいりますので、ご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

特集

全農栃木県本部 子会社等新役員体制

令和5年6月30日開催の各社定時株主総会および取締役会におきまして、新役員体制が決定しましたので、お知らせします。

株式会社ジェイエイ栃木ライフ

(〒321-0905 宇都宮市平出工業団地26-4 ☎028-660-3300)

取締役会長	代表取締役社長	常務取締役	取締役			監査役
菊地 秀俊	加藤 知明	伊澤 雄一	国府田厚志	中村 昌文	古澤 申明	伊藤 順久
			佐藤 和弘	高瀬 和幸		田波 宏夫

株式会社JAグリーンとちぎ

(〒329-1105 宇都宮市中岡本町2713-1 ☎028-671-8866)

取締役会長	代表取締役社長	常務取締役	取締役			監査役
菊地 秀俊	菊地 和久	園部 達朗	国府田厚志	中村 昌文	古澤 申明	佐藤 俊伸
		永山 登	高瀬 和幸	金田 豊	阿久津 剛	田波 宏夫 (常勤)
		米山 弘人				生井 博之

株式会社JAエルサポート

(〒321-0111 宇都宮市川田町1033-2 ☎028-633-4800)

取締役会長	取締役副会長	代表取締役社長	常務取締役	取締役			監査役
菊地 秀俊	国府田厚志	山口 芳春	久保 芳宏	伊藤 順久	荒井 秀忠	中山 正樹	古澤 申明
			黒川 満広	佐藤 俊伸	青木 孝雄	渡邊 文雄	生井 博之 (常勤)
				長 昌光	金井 猛弘	齋藤 肇	田波 宏夫
				中村 昌文	大島 康寛		

栃木県×東武鉄道 連携プロモーションに協賛 「いちご王国」ライン出発式

栃木県と東武鉄道は、栃木県誕生150周年を記念し、6月10日より東武宇都宮線の愛称を1年間限定で「いちご王国ライン」とし、車内外をいちごで装飾した車両「ベリーハッピートレイン」の運行を開始しました。本会はJAグループ栃木として、「いちご王国ライン」の誕生に合わせた各種プロモーションに協賛し、「いちご王国栃木」及び栃木県のいちごのPRに貢献しました。

6月10日には東武宇都宮駅構内で、会場に訪れた多くの県民に見守られながら出発式が執り行われ、福田県知事、菊地会長、中村県本部長のほか、お笑いタレントU字工事のお二人も出席し、会場を盛り上げました。



セレモニーの様子



ベリーハッピートレインに試乗する関係者ら

営農販売企画部・米麦部は出発式当日、同プロモーションの一環として、東武宇都宮駅改札外のコンコースで特別販売会を開きました。県産小麦ゆめかおりを使用した2種のいちごジャムパンや、とちおとめのチーズケーキバー、とちぎの星のおにぎりなど、いちごを中心とした県産農産物の加工品を販売しました。ジャムパンについては、宇都宮市内のパン屋さん「あお麦」さんにご協力いただき、本イベント限定商品として販売しました。

販売会の会場には駅や百貨店を利用する多くのお客さんが訪れ、商品を買求めるお客さんで長い列ができ、大盛況となりました。県民の皆様を中心に、県産農産物を多くの方にPRすることができました。



販売会の様子



『6月15日 栃木県民の日』にはとちぎの花を🌸

本会園芸部は6月5日～6月9日まで、宇都宮花き地方卸売市場にて「とちぎの花 県民の日フェア」を開催しました。とちぎの花の消費拡大を図るため、6月15日の“栃木県民の日”に合わせて、買参人や一般消費者に向けた販促PRを毎年行っています。フェア初日の6月5日には、生産者の代表者とJA担当者、本会職員による買参人向けのセリ前挨拶と、産地と買参人の交流会・買参人向けのアンケート調査等を実施し、とちぎの花を積極的にご活用いただくよう広くPRを行いました。

引き続き産地一体となって、とちぎの花の消費拡大に取り組んでまいります。



展示会場の様子

『梨消費宣伝事業委員会』を開催

園芸部は6月1日、「令和5年度 第1回栃木梨消費宣伝事業委員会」を開催しました。各産地JAの梨部会長や県関係者ら約50名が出席し、令和4年度の活動報告と令和5年度の事業計画を協議しました。

昨年度はコロナ禍による制約を受けつつも、大田市場や地元プロスポーツ公式戦でのビデオ放映、各種マスメディアを活用したPRに取り組みました。また、「視覚に訴える消費宣伝活動」をテーマに店頭宣伝を実施し、中でもポイント還元企画では高い評価を得ることができました。今年度については、感染症対策に考慮しつつ、試食宣伝や店頭宣伝などを積極的に展開していくこととしました。

役員改選では、新委員長にJAなすのの鈴木俊介さんが選ばれました。新体制は以下の通り。

【令和5年度栃木梨消費宣伝事業委員会役員】(敬称略)

役職名	氏名	管内JA
委員長	鈴木 俊介	JAなすの
副委員長	相場 照久	JAうつのみや
副委員長	菊地 方敏	JAはが野

※検査役省略



鈴木新委員長

『野菜消費拡大事業委員会』を開催

園芸部は6月8日、「令和5年度 第1回栃木野菜消費拡大事業委員会」を開催しました。県内JAの各品目の部会長や県関係者ら約40名が出席し、令和4年度の活動報告と令和5年度の事業計画について協議しました。

昨年度は、テレビ、ラジオ等のマスメディアでの広告宣伝や、SNSを活用した消費喚起に取り組み、店頭宣伝については一昨年度の113回を大きく上回る176回の実施となりました。今年度については、「栃木の野菜」の認知度向上を図るため、昨年度の取り組みを継続しつつ、店頭での販促を中心に事業を展開することとしました。

また、役員改選を行い、JAなす南ねぎ部会長の金子操さんが新委員長に選ばれました。新体制は以下の通り。

【令和5年度栃木野菜消費拡大事業委員会役員】(敬称略)

役職名	氏名	管内JA
委員長	金子 操	JAなす南
副委員長	石川 順一	JAかみつが
副委員長	阿久津光良	JAうつのみや
副委員長	大島 一仁	JAおやま
副委員長	稲毛 孝夫	JA足利

※検査役省略



金子新委員長

『交雑種・和牛販促委員会』を開催

畜産部が事務局を務める「JAグループ栃木交雑種販促委員会」と「JAグループ栃木和牛販促委員会」はそれぞれ6月9日、16日に、令和4年度の事業報告と令和5年度の販売促進の事業方針を協議しました。

令和5年度においては新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、外食需要の回復が期待される一方、昨今の物価上昇の影響を受け、特に牛肉は家庭消費の伸び悩みが懸念されると見通しました。これらを踏まえ、生産者の再生産価格を確保するためのブランド力強化、生産基盤の維持に努めるとし、県産銘柄牛の消費喚起、販路拡大に向けた取り組み強化やSDGsを考慮した販促活動、若手生産者の育成を進めることなどを確認しました。

交雑種販促委員会では手塚正さん(JAしおのや)が、和牛販促委員会では佐藤和徳さん(JAなすの)がそれぞれ、会長に再任されました。

【交雑種販促委員会役員】(敬称略)

役職名	生産者	管内JA
会長	手塚 正	JAしおのや
副会長	梁島 史好	JAうつのみや
副会長	伊沢 春幸	JAおやま
監事	須藤 尚	JAうつのみや

【和牛販促委員会役員】(敬称略)

役職名	生産者	管内JA
会長	佐藤 和徳	JAなすの
副会長	上野 一弘	JAうつのみや
副会長	舟田 康弘	JAしもつけ
監事	仲山 一夫	JAしおのや



手塚会長



佐藤会長

栃木米の産地視察 田植え体験と工場見学を実施

よい朝のために。

KYORITSU
HOTELS & DORMITORIES



パールライス部は5月25日、本会の取り扱う栃木県産米をご使用いただいている(株) 共立メンテナンス様と新生食品(株)様の社員を対象とした産地視察会を開催し、計10名が参加しました。

当日は田植え体験と工場見学を行い、田植え体験では、下野市の生産者の圃場で産地情報や栽培方法などを説明した後、実際に田んぼに入り手植えに挑戦していただきました。

その後は本会パールライス精米工場に移動し、米の品質管理等について学びながら工場見学を行いました。



手植えに挑戦する参加者

田植え体験直後、参加者からは「初めて田植えを経験し、普段扱っているお米に対する思いが変わった」や「いつもおいしいお米を提供していただいている、この産地視察を今後の取引につなげていけたら」などの声があがり、双方にとって非常に有意義な産地視察会となりました。



夏にらの目揃え会を開催



園芸部は5月29日、「令和5年産栃木夏にら統一目揃え会」を開催し、県内各JAの生産者代表・担当者や市場関係者、県の担当者ら約50名が出席しました。販売情勢や出荷規格、申し合わせ事項の確認を行ったほか、県からは今後の栽培管理について「排水対策を徹底し、梅雨の時期に備えていただきたい」と注意喚起がありました。

市場関係者からは「品質を維持することで消費者の信頼が得られ、安定した価格での販売につながる。厳しい販売情勢の中だが、栃木全体として品質の底上げを図ることが重要」といったコメントがありました。



現物目揃えのようす

夏秋なすの目揃え会を開催



園芸部は6月2日、「令和5年産夏秋なす統一目揃え会」を開催し、各JAの生産者代表・担当者、市場関係者、県の担当者ら約50名が出席しました。

協議の中では、今年3月より変更となった県統一規格を重点的に確認した後、現物の目揃えを通じて、県全体での出荷規格の統一を図りました。

荒井園芸部長は「販売目標達成に向け、重点市場の皆様と連携を取りながら安定供給に向けて取り組んでいく。今年は試食販売やマネキンを活用した販促などを積極的に行い、店頭でのPRにも力を入れていく」と意気込みました。

市場関係者は「今後の販売は西側産地中心から、関東産に切り替わっていく。販売先からの需要も高まってきているので、できる限り早くからの出荷をお願いしたい」と期待の声を寄せました。



変更された規格を確認

JAエルサポート&JAうつのみやが冠試合



BCリーグ公式戦でPRイベントを実施

株式会社JAエルサポート・JAうつのみやは6月17日に宇都宮市内で開かれたBCリーグの公式戦(栃木ゴールデンブレーブスvs埼玉武蔵ヒートベアーズ)で、来場者に対し、JAタウンギフトカードやガソリン券、農産物が当たる抽選会や農産物の販売会などを実施し、PRを行いました。双方の冠試合である本試合には、令和5年度とちぎフレッシュメイトの3名も駆け付け、



ノベルティの配布などを行いました。

試合前の贈呈式では、JAエルサポートの山口社長が栃木ゴールデンブレーブスに対し「とちぎの星」を、JAうつのみやの佐藤組合長が埼玉武蔵ヒートベアーズに対し「JAうつのみやの農産物」を贈呈しました。



贈呈式の様子(左:山口社長 右:佐藤組合長)

信頼される地域ナンバーワンの農機センターを目指して



パワフルアグリフェアに向けて拠点職員らが決起

生産資材部は6月23日、「令和5年度 JA全農とちぎ農機事業一体運営拠点合同研修会」並びに「第22回パワフルアグリフェア キックオフミーティング」を開催しました。当日は、農機事業の一体運営に参画する はが野・しもつけ・なす南・おやま・しおのや・うつのみやの6拠点の職員や本会農機職員ら計130名以上が出席しました。

研修会は3部構成で実施され、第1部では、第2弾共同購入トラクターの取り組みを含めた令和4年度の取り組み総括を行った後、令和5年度の事業方針や第3弾共同購入コンバインの取り組み具体策などを確認しました。第2部では、庭先・保守点検など各種運動活動で目標を達成した職員の表彰を行い、1年間の功績を讃えました。

古澤副本部長は冒頭、「生産現場を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあり、我々全農に対する期待・要望はますます大きくなっていく。生産者のニーズをしっかりと受け止め、最適な提案を進めていきたい」と挨拶をしました。

第3部では、7月22日・23日に開催される「第22回パワフルアグリフェア」を全拠点職員一丸となって成功させるため、キックオフミーティングが行われました。各メーカーのキャンペーン内容などの実施施策やフェアの概要・集客対策について共有し、各拠点代表者から計画と現在の進捗状況を報告・確認のうえ、目標必達に向けて決意表明を行いました。



挨拶をする古澤副本部長



決意表明をする佐藤弘康さん(しもつけ広域農機センター)



お知らせ



第22回 JAグループ栃木



パワフルアグリフェア 開催!

JAグループ栃木が総力を挙げ、栃木県の農業を応援する夏の一大イベント「パワフルアグリフェア」を今年も開催します！昨年までは新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止または規模縮小での開催でしたが、いよいよ今年から本来の規模に戻し、盛大に開催いたします！！

展示コーナーでは、メーカー各社の**新型農業機械の展示・実演**をはじめとし、**みどりの食料システム戦略に対応した機械の展示**、スマート農業の実現に向けた**ロボットトラクターや田植え機、ザルビオフィールドマネージャー**などの**最先端技術やICT農機**も多数ご紹介します。

肥料農薬コーナーでは、低コストタイプの肥料・農薬の紹介や土壌診断の紹介など、**生産コスト低減に向けての取り組み**をご紹介します。

このほか、営農情報や中古農機情報の発信なども行い、生産者の皆様にご満足いただける多数のブースをご用意いたします。

また、今年は栃木県産の食を楽しめる**飲食コーナー**や**ステージイベント**も復活し、組合員様はもちろん、農業や食に興味のある一般の方にも楽しんでいただける内容となっております。

栃木県の農業が詰まった2日間、皆様のご来場を心よりお待ちしております♪

※栃木県のガイドラインに沿った感染予防対策を行い、ご来場される皆様の安全を確保して実施いたします。

7/22(土) 23(日)

AM9:00～PM3:00
(受付PM2:30まで)

会場 みずほの自然の森公園 東駐車場特設会場

主催 JAグループ栃木

簡単レシピ

トマトたっぷりキーマカレー



(アドバイス表2022年7月基本コースP9)

【材料】(2人分)

・豚挽肉	200g
・しょうが(みじん切り)	1片
・にんにく(みじん切り)	1片
・油	適量
・玉ねぎ(みじん切り)	1個
・なす(1cm角切り)	1本
・ピーマン(1cm角切り)	1個
・トマト(1cm角切り)	2個
・カレー粉・ウスターソース・ケチャップ	各大さじ1
④ しょうゆ	大さじ1/2
・コンソメ(顆粒)	小さじ2
・塩	小さじ1/2
・塩・こしょう	少々
・ご飯	どんぶり2杯分
・温泉玉子又は茹で卵	お好みで
・パセリ(みじん切り)	お好みで

■作り方■

- 1 フライパンに油を熱し、しょうがとにんにくを入れて炒める。香りが立ったら挽き肉を加えて炒め、色が変わったら玉ねぎ、なす、ピーマンの順に加えて炒める。
- 2 ①にトマトを加えてさらに炒め、野菜に火が通ったら④を加えて全体を炒め合わせる。塩・こしょうで味を調べ、ご飯と一緒に器に盛り付け、お好みで温泉玉子や茹で卵、パセリを添える。

ふれあい食材についてはこちらから!



ポイント!



栃木推進課 管理栄養士
高橋 雲世さん

トマトに含まれるリコピンは油に溶けやすい性質を持っているため、油とともに摂取することで体内への吸収率がアップします。また、トマトは加熱をすることで生の状態よりもリコピンの吸収率が高まるといわれています。



子牛市場情報

令和5年度6月矢板家畜市場成績書

	性別	上場頭数	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重(日令)	単価(kg)	前回比
1日	雌	166	162	903,100	258,500	542,014	297(290)	1,823	15,908
	雄	—	—	—	—	—	—	—	—
	去勢	194	190	1,095,600	339,900	712,278	330(286)	2,157	6,193
	合計	360	352	1,095,600	258,500	633,918	315(288)	2,012	7,622
2日	雌	174	170	913,000	304,700	556,373	291(290)	1,908	66,273
	雄	1	1	515,900	515,900	515,900	274(306)	1,882	—
	去勢	218	218	1,111,000	270,600	747,172	329(287)	2,265	79,311
	合計	393	389	1,111,000	270,600	663,195	312(288)	2,119	77,724
6月期合計	雌	340	332	913,000	258,500	549,367	294(290)	1,866	40,684
	雄	1	1	515,900	515,900	515,900	274(306)	1,882	—
	去勢	412	408	1,111,000	270,600	730,923	330(286)	2,214	42,558
	合計	753	741	1,111,000	258,500	649,287	313(288)	2,068	42,292
概況	<p>6月の矢板家畜市場は、753頭上場にて741頭が成立し、前年同月比19頭減となりました。平均価格は対前月比雌40,684円高、去勢42,558円高となりました。 多数の購買者にご来場いただき、雌・去勢ともに活発な取引となりました。</p> <p>購買者数 1日目：150人 2日目：165人</p>								

○次回開催/2023年7月3日～4日 出場予定:各350頭(2023年8月の開催は、1日・2日です。)

とちぎ新鮮倉庫からのお知らせ



季節商品のご紹介



「巨峰 ブドウ」

“ぶどうの王様”とも呼ばれ、豊かな大地で太陽の恵みをいっぱいを受けて育った栃木県の「巨峰」は、大粒で甘みたっぷりなのが特徴です！
 季節の贈り物や、お中元にいかがでしょうか？



とちぎ新鮮倉庫

検索



7月の行事

- 3日(月) 矢板子牛市場 畜産部
- 4日(火) 矢板子牛市場 畜産部
- 10日(月) 花き生産者大会 園芸部
- 22日(土) パワフルアグリフェア 生産資材部
- 23日(日) パワフルアグリフェア 生産資材部



★5日・12日・19日・26日(水) RADIO BERRY (17:15～)

編集後記

7月になりました。先月は雨ばかりでしたが、これから本格的な夏がやってきます。お祭りや花火大会も、やっと前のように楽しめるのでしょうか。制限されていた過去数年の夏を取り戻すために今年には色々な「夏」っぽいことをしたいなあと思っています。

そうめんやアイスばかり食べてしまいがちな夏ですが、夏バテ予防のためにも、栄養バランスにはより一層気をつけていきたいです。
 (みう)





第22回 JAグループ栃木 農業機械大展示会

パワフル アグリフェア

生産振興とJAグループへの結集を図り、
持続可能な農業を実現します。

展示会場・数量限定!

特価品販売!

※詳細は当日受付にて
ご確認ください。

抽選で豪華景品があたる

クイズラリー

開催



～トジちゃん似の男～
原俊作

22 ± 23日



浜田やコラ!でおなじみ!
ハリウリサ

22 ± 23日

※ステージイベント詳細は
全農とちぎHPで発表いたします。



©栃木県 とちまるくん

7/22 ± 23日

AM9:00～PM3:00 [受付PM2:30まで]

会場

みずほの自然の森公園

東駐車場特設会場 **公園内は全面禁煙となります**

住所：栃木県宇都宮市西刑部町 1861

主催

JAグループ栃木

(農業協同組合・全農栃木県本部)

協賛

栃木県・JA栃木中央会・JA共済連栃木

農林中央金庫宇都宮支店

JA全農とちぎ取扱関連メーカー



©栃木県 とちまるくん



私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。



この印刷物は環境にやさしい植物油
インクと再生紙を使用しています。



私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**になります。